



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hisashi Shimada 〒659-0093 3-13, Funado-cho, Ashiya, Hyogo, JAPAN  
 Mail : [freedomism@nifty.com](mailto:freedomism@nifty.com) Phone : 0797-38-4936  
 URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

国際協会会長 「世を照らす光となるう」  
 Philip Mathai(インド) "Be the light of the world"  
 アジア地域会長 「歳月 Y's をワイズ(賢者)にする」  
 Oliver Wu(台湾) "Years bring wisdom"  
 西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」  
 成瀬 晃三 クラブで、地域で、国際社会で、  
 "Let Y'smen Light Shine before Others,  
 in the club, in the community, in the world"  
 六甲部部长 「柔軟な創造で愚直に積極的な」  
 上野 恭男 ワイズライフを楽しもう」  
 "With the heart filled with creative evolution.  
 Let us enjoy Y's life. Faithfully and constructively!"  
 芦屋クラブ会長 「奉仕する共同体」  
 島田 恒 'Serving Community with YMCA'

会 長 島田 恒  
 直前会長 都筑省三  
 副 会 長 羽太英樹・堤 清  
 書 記 桑野友子・福原吉孝  
 会 計 羽太英樹  
 監 事 田舎庸男  
 連絡主事 藤田良祐  
 六甲部 上野恭男(部長)・加輪上敏彦(事務局長)  
 柏原佳子(書記)・桑野友子(会計)

4

April 2013  
 第 191 号

## 今月の聖句

「あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかる。」

マタイ福音書 28:6~7

## 4月第1例会プログラム

と き: 2013年4月17日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3F  
 司 会: 堀江哲次 (敬称略)  
 受 付: 羽太英樹・堤 清

1. 開会点鐘 島田 恒会長
2. クラブソング斉唱
3. 聖書朗読
4. 食前感謝 藤田良祐
5. 食事・歓談
6. 15周年記念講演会打合せ 島田 恒会長  
 事前/当日の役割 福原吉孝
7. 1) 第2例会議事録の承認 島田 恒会長  
 2) 事業委員報告・その他 各委員 & メンバー
8. YMCAニュース 藤田良祐連絡主事
9. ニコニコ献金報告 福原吉孝
10. 誕生祝い 島田 恒会長  
 田舎M、島田、福原、崔M
11. 閉会点鐘 島田 恒会長

## YMCAサービス事業強調月間

堀江哲次

ワイズメンズクラブは、キリスト教精神をベースとした青年のためにあるYMCAを奉仕の対象、またはパートナーとして活動しており、メンバーはYMCAとミッションを共有し活動するとされています。「ワイズメンはYMCAの人々であり、YMCAのための人々である」とも言われます。YMCAサービス事業は、単なるYMCAへの奉仕でなく、YMCAと協働して行う活動を大切に考える必要があると思います。YMCAの社会への働き・魅力を共に考え活動することが重要です。YMCAとの協働を通じて社会に何が奉仕できるのかということを考えさせられる大きな機会ともなります。私はYMCAサービス事業強調月間の記事を書きながら、ワイズが出来る限りYMCA主催の各行事-YYフォーラム、チャリティラン・コンサート・ゴルフ・ワインなどに参加しその活動を理解し、物心両面からサポートすることが求められていると改めて思いました。芦屋クラブは留学生交流会やタイワークキャンプ支援やさくら祭りなどやチジミの店などを通じてYMCAの若者たちと交流する機会が設けられていますが、もっと若者といろんな話をして交わる機会を持つことが出来、ワイズとの相互理解を通じて日本の将来をにやう若者が育ち、また自分の人生も豊かになることを願っています。

## 3月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	15名	出席者	15名	
ビジター	2名	メイクアップ	1名	
ゲスト	名	合 計	16名	
メネット	3名	在籍者	18名	
合 計	20名	(内広義会員 1名)	出席率 88.9%	

### 3月第1例会報告

日時： 2013年3月20日(水) 19時～21時

場所： ホテル竹園

司会： 羽太英樹 (敬称略)

出席者： 五十嵐政二、五十嵐かほる、上野恭男、大澤二郎、大澤昌子、柏原佳子、桑野友子、権甲植、島田恒、都筑省三、堤清、羽太英樹、羽太光子、福原吉孝、藤川晃成、堀江哲次、渡辺倫子、藤田良祐 (メン・ウイメン 18名)

ビジター： 杉村肇(さんだクラブ)、青柳美知子(宝塚クラブ)  
定刻に島田会長の開会点鐘で始まり、クラブソング斉唱、聖書朗読に続き、ビジターの紹介があった。藤川メンによる食前感謝の後、食事と歓談のひと時を過ごした。



本日のスピーチは島田会長による今期活動方針のひとつである「社会に奉仕・発信するクラブ」にそって、芦屋市内で障がい者施設「みどり福祉作業所」を運営管理されている大澤二郎メンである。キリスト教テレビ番組で放映された大澤メン・メネットの活躍のビデオを見ながら「障がいのある方達と共に」についての話を伺った。色んな苦労を経て「みどり作業所」を立ち上げ、今日、市内光陽町にも事業所を展開する大澤夫妻の働きに改めて敬意を表したい。



芦屋ワイズとして支援の気持ちを再認識することが出来た。尚、ご子息を牧師にされるなど夫妻の働きのベースに信仰があることもこの事業の原動力なのだろう。質疑応答のあと、事務報告(第2例会、15周年記念講演会準備状況その他)、YMCA ニュース、誕生祝い、ビジターからの他クラブアピール等をもって閉会した。尚、本日のニコニコ献金は「みどり基金」として計上することとなった。

羽太英樹

### 東日本大震災街頭募金に参加して

3月11日(月)14:00～16:00 JR芦屋駅北側において東日本大震災のための街頭募金活動を行いました。芦屋ワイズメンより8名、YMCAより6名の参加でした。神戸の震災を体験した私に出来ることの一つではないかと思い、私も街頭に立たせて頂きました。東北を忘れない、風化させてはいけない、そんな思いもあって「よろしく願い致します」を繰り返し発声する。今年はYMCAのリーダーさんや若いメンバーの方達が一緒に立って声を張り上げてくれたので、その声に励まされながら、



寒空を若い人に導かれるように私も声を張り上げ、頭を下げました。

その時、奇跡が起きたのです。中年の女性が私達の活動に賛同して下さって、一万円札を一つ一つの募金箱に入れてくださったのです。そして「頑張ってください」と言って、冷たい私の手を両手で握って下さいました。寄付をお願いする側の人間が、逆に見知らぬ方に勇気をもらい、励まされた瞬間でした。そのご婦人に心から御礼と感謝を申し上げたく思います。



おかげでたったの2時間で、8万9千54円の募金額をYMCAにお渡しすることができました。金額の大きさより、その方から頂いた勇気と感謝のうれしさの方が大きかったように思います。YMCAの若い方達にも励まされ、いつにない感動をもらった街頭募金でした。

## 第2回六甲部評議会報告

3月16日(土)午後3時から神戸Y C Aチャペルで開催。芦屋クラブは上野部長、柏原書記、桑野会計と現キャビネットとして重責を担っていますので、会員も午後2時に集合して受付や会場準備をしました。

島田会長、五十嵐政二・かほる、羽太、堀江、福原、都筑が参加しました。会は定刻に柏原書記の司会で始まり、先ず急逝された成瀬晃三西日本区理事(名古屋クラブ)を偲んで黙祷をささげました。その後、プログラムに沿って上野部長の挨拶、来賓の水野総主事の挨拶と続き、上野部長は

ワイズの仲間意識に支えられてこれまでやってきた。最後まで楽しく続けたいと挨拶。水野総主事からはY M C Aは今年も東日本大震災の支援と取り組んできた。5年続けようと考えている。また大きなプロジェクトとして神戸Y C Aは理事会で建て替えを決議した。1年後の来年4月に着工の予定、サイコー亭はこの3月で閉店するという報告があり、暫くご不便をお掛けするが、夢を持って前進したいという挨拶がありました。

議事に入り部長の中間活動報告、会計の会計報告の後、次期の役員として、部長に神戸ポートクラブの山田滋己メン、書記に大野勉メン、会計に山崎往夫メンの紹介と承認がありました。次に事業主査報告(7部門)、と8クラブの会長より活動報告がありました。最後にみんなでY M C Aの歌を斉唱し、無事閉会点鐘となりました。

第2部は5時半よりサイコー亭に場所を移し、アピールタイム、「みんなで歌おう」と賑やかに楽しい懇親会になりました。



## 交流委員便り「ニンジン物語」

4月2日お約束通り熊本からニンジンが思い出とともに届けられました。このニンジンのお話をさせてください。「西原村のふるさと市場」は形が違ったり少し傷があったりの理由で市場には出されない地域に根ざした市場です。DBCクラブ表敬訪問で故飯田さま、吉岡さま、桑野 柏原(各ウイメン)の4人で降りたった空港のすぐそばで鮮やかなニンジンの山が目にとまり、出迎えに来て下さった熊本みなみのメンバーに「芦屋の桜祭り」に使いたいので送っていただけませんかとお相談したのが始まりです。それから4年間ずっと交流の絆として続けられています。以下は交換メールの抜粋です。 柏原佳子  
ご無沙汰しております。最近、落ち込むことが多くてちょっとめげていましたが気を取り直して頑張っているところです。ニンジンの手配もDBC交流のひとつでしょう。よろこんでお引き受けいたします。……すっかり暖かくなりましたね、熊本の桜はすでに葉桜です。今日、西原村のふるさと市場でニンジン40kgを発注してきました。4月2日午前中の到着です。価格は5,960円です。また西日本区大会でお会いしましょう。

熊本みなみクラブ会長 桑原純一郎

交流委員 柏原佳子

## さくら祭りのニンジン切り

4月5日(金)午後 柏原邸にて DBC 熊本みなみから送られて来たニンジン切りをしました。参加者は柏原、桑野、都筑、羽太、福原、堀江の6名でした。事前に美味しいコーヒー、上野メン差し入れのワインを頂いていたので、快調なペースと勢いでニンジン切り(14本/人)が出来ました。当日の話題の中心は明日の天候のことで、お客さまが集まるだろうか、ファンド収益はどうなるだろうかなどで、今日切ったニンジンが無駄にならないことを祈るばかりでした。 堀江哲次

## 芦屋さくら祭りが急遽中止となりました！

さくら祭りのプリテン記事を予定していましたが、中止となりましたので 以下に関連メールを抜粋しました。 堀江哲次

残念ですが悪天候のために急遽さくら祭り中止が決まりました。皆さん、予定をされておられたのにすみませんです。

とりあえず、連絡いたします。

上野恭男

午前9時丁度に現場に行きました。既に各セットの解体作業中でした。誰もおられずちよびりさびしく後にしました。帰宅して上野様のメールを見ました。 藤川晃成

本日のさくら祭りが中止となり残念でした。私は客の呼び込みくらいしかできませんが、チジミ焼き、綿菓子作りなど、手ぐすね引いておられた方は力落としてもあったと思います。上野メンはじめ多くの皆さまのご努力を感謝し、みんなで残念を共有したいと思います。食材を「みどり作業所」にお届けくださりよければ幸いです。重ねてご尽力に感謝申し上げます。

会長 島田 恒



今期は故飯田メンの思いを胸に、芦屋クラブの皆さん、特に六甲部三役の上野部長、柏原書記、桑野会計にとって忘れられない1年であったように思います。ほっとされていることと思います。ご苦勞様でございました。7時半に散会。

都筑省三

### 3月第2例会議事録(抄)

場所： 芦屋市民センター 206号室

日時： 3月27日(水) 19:00～21:00

出席者： 島田会長・上野・柏原・桑野・堤・都筑・羽太  
福原・堀江・五十嵐かほる・藤田連絡主事

#### 1) 第1例会プログラム

4月17日(水) 記念講演会最終打ち合わせ

21日(日) 15周年記念講演会

5月15日(水) スピーチ 西義人氏(賀川記念館参事)

6月19日(水) 1年の振り返り/次期抱負

5月又は6月にタイワークキャンパーの報告をいれる。

尚、6月&7月(次期)の第1例会会場はホテル竹園

芦屋を利用できないので、市民センターもしくは適当な  
場所を探す

2) 1月・2月度会計報告が羽太会計よりあり、承認

3) 15周年記念例会実行委員会報告があり、プログラムの修正、チラシとチケットの配布・販売状況及び予算(案)が報告された。事前の準備は実行委員で行ない、クラブメンバーの当日の役割は4月17日の第1例会で願います。

4) 西日本区大会(6月22・23日)には次の10名が参加する：五十嵐、五十嵐M、上野、柏原、桑野、島田、羽太、羽太M、福原、渡辺

尚、参加支援金として各5,000円がクラブより支給される。

5) 東日本区大会(6月8・9日)もりおかクラブのDBCを兼ねて、次の3名が参加する。：上野・柏原・桑野

6) 芦屋川さくら祭りについて話し合い、詳細を決めた

4月6日(土)と7日(日)のローテーション、事前の材料の手配(購入&ニンジンカット)及び備品の用意(事前&当日)

7) その他

・メネット国内事業「心のケアを考える」講習会(4月20日)には五十嵐M、上野、柏原、桑野の4名が参加する

・宝塚クラブ25周年記念例会(5月25日)には 上野  
柏原、桑野、都筑の4名 島田会長は都合がつけば参加する

桑野友子(書記)

### YMCAニュース

藤田良祐(YMCA連絡主事)

東日本大震災、2年目の「その日」

3月11日(月)に東日本大震災から丸2年の日を迎え、神戸YMCA各部では亡くなられた多くの方々の平安を祈り、また被災地の復興を願って「祈りの時」を過ごしました。

震災支援のリーダー会、各ワイズメンズクラブを中心に、ボランティア、スタッフが結集し、街頭募金を10日(日)、11日(月)と行なってくださり、多くの募金が与えられました。

#### 第30回タイ・ワークキャンプ実施

第30回タイ・チェンマイYMCAとの協働のワークキャンプが3月14日～26日まで開催され、無事帰国しました。今回は引率者の山本正高(ウエルネスセンター学園都市)を含んで6人という少ない参加者でしたが、タイ北部、ミャンマーとの国境に近いメーホンソン県メーサリアン郡のファイサイスクールという村の学校にインフォメーション・テクノロジー・ラーニングセンター(IT学習センター)を建設するワークを行ないました。

#### 神戸サイコー亭、営業終了

古くは神戸YMCAのホテル事業部の一部として、そしてこの10年は「神戸サイコー亭」として長年、三宮会馆内のレストランを営業していただきましたが、この3月末をもって閉店されることになりました。

#### 春の余島、スキー、春プログラム開催

春休みには余島をはじめ、サッカー合宿やスキーキャンプ、水泳や鉄棒などの特別講習会などが行われましたが、特に余島では同盟主催による東日本大震災で両親を失くした子どもたち13名のグリーンケアキャンプ(「スカイキャンプ」という名称)が3月26日～30日に行なわれました。また、3月29日から4月2日の余島冒険キャンプには神戸西ロータリークラブの招待によって福島の子どもたちが参加しました。

#### 今後の予定

127周年創立記念日礼拝

1886(明治19)年に発会してから127年を迎えます。是非、ご出席ください。

日時：5月8日(水)午後6:30～8:30

場所：神戸YMCAチャペル

メッセージ：「神の呼びかけに応えるYMCA」

山本俊正氏(関西学院大学宗教主事)

神戸YMCA国際委員)

#### 編集後記：

4月に入って桜が早くも満開となりました。残った桜で今年は何とかさくら祭りができるかなと準備万端を整えて待っていました。ところが当日朝、急遽悪天候のため中止となりました。散る桜 残る桜も 散る桜 といわれますが さくら祭りのチジミ名人・綿菓子名人とも活躍できずに終わり、残念なことでした。また来年に期待しましょう。

堀江哲次